

謹賀新年



年頭にあたって



富良野市議会議長
北 猛 俊

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、感動と希望を胸に、輝かしい新年をお迎えのことと存じます。

昨年は、世界の政治・経済が大きく揺れた年であり、新政権が誕生したものの、依然として先行きの不透明感を払拭できない情勢であります。

本市においても、景気や雇用の対策が講じられていくところですが、一刻も早い回復を望むところであります。

地方自治を取り巻く環境はますます多難であり、その舵取りも厳しいものがありますが富良野市総合計画策定の年を迎え、市民生活に密着した諸施策に、万全を期すことが求められます。

我々市議会も、こうした厳しい環境にあっても、市民の皆様が心の豊かさや日々の暮らしに喜びを実感できるまちづくりのため、全力で取り組んでまいります。

今年が皆様にとって、飛躍の一年となりますことをご祈念申し上げ、新年のご挨拶いたします。

全議員による 議会報告会スタート



市民の議会となるために(山部地区)

議会報告会とは

議会報告会は、平成17年3月に全国では2例目、北海道内では初の取り組みとして栗山町か

ら始まり、いま、全国で広がりつつあります。本市議会の議会改革特別委員会でも、当面の優先課題として検討を重ねてまいりました。議会は住民を代表し、まちづくりに関わる政策を最終決定する機関であり、住民に一番近い存在でなければなりません。民主的なまちづくりを実現し、効率的な行財政運営を図る上で、議会と市民との連携が重要です。議会報告会は、議会が直接地域に足を運び、市政に関する情報の提供に努め、さらに、議会活動や市政に関する意見や提言を聴取する機会とするものです。

本市議会では、まず議会改革特別委員会委員7名で、麻町連合会、北の峰町連合会で試行的に実施をいたしました。その結果を踏まえて、議員全員を3班に分け、昨年11月29日に東山地区、12月3日に山部地区、本年1月19日には東部地区(麓郷、布礼別、八幡丘、富丘)で開催しました。議会報告会は市議会として初の取り組みで、市民の皆さんにも馴染みが薄く、一方、議会も試行錯誤の段階で、緒についたばかりです。今後、実施内容を検証し、全地区を対象とした開催を目指しております。住民と議会との情報の共有と対話は、住民参加のまちづくりの実施に資するものであり、ご理解とご協力をお願いいたします。